

神納地域 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

平成29年11月

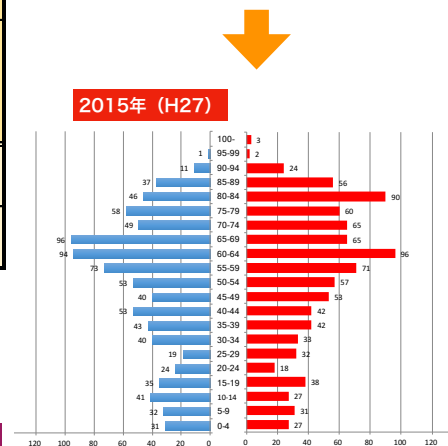
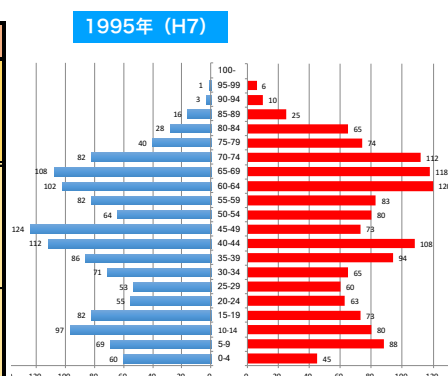
NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

神納地域

国勢調査データから見る過去20年間の人口推移

神納地域の人口ピラミッドの推移

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年※
総人口 (人)	2,777	2,300	2,151	1,963	1,808	1,626
	20年間で34.9%減少					▲ 182
0～14歳 (人)	439	312	262	214	189	173
	20年間で56.9%減少					▲ 16
15～64歳 (人)	1,650	1,325	1,220	1,109	956	780
	20年間で43.1%減少					▲ 176
65歳～ (人)	688	663	669	640	663	672
	20年間で3.6%減少					▲ 9
高齢化率	24.77%	28.83%	31.10%	32.60%	36.67%	41.35%
(再掲) 75歳～ (人)	268	297	358	391	388	333
(再掲) 85歳～ (人)	61	66	73	96	134	135



※国勢調査データを基に都岐沙羅パートナーズセンターが独自に推計した数値

(参考) 2015年の高齢化率 新潟県平均：29.85%/全国平均：26.63%

神納地域も急激に少子高齢化が進展している！

中学生以上の全住民アンケートの実施

神林地区の5つのまちづくり協議会が同時に実施。

【神納地域】

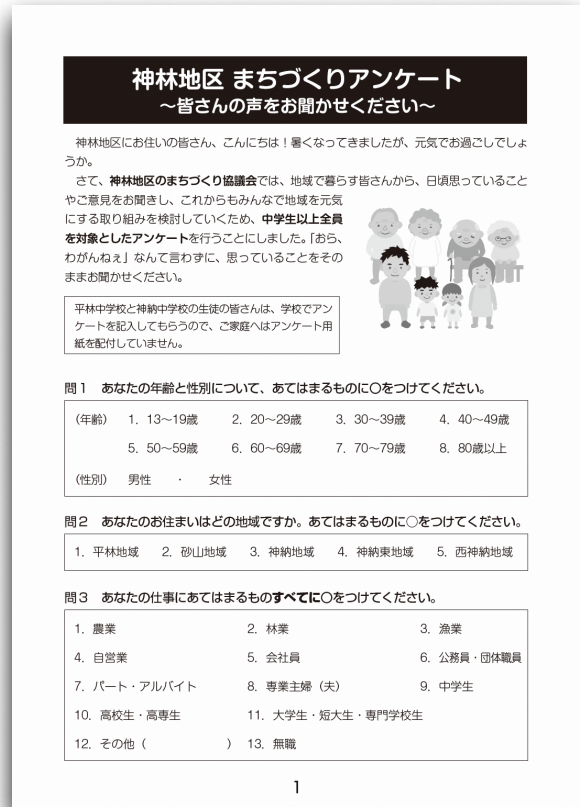
配布数：1,664通

回収数：1,319通

回収率：**79.3%**

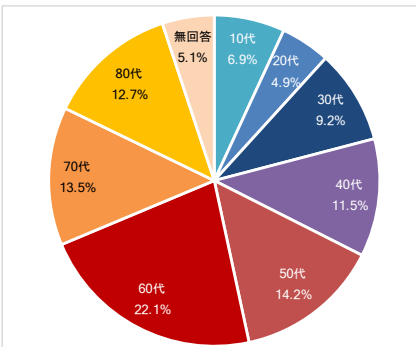
かなりの高回収率！

↓
地域住民の意向がしっかりと反映されているデータである

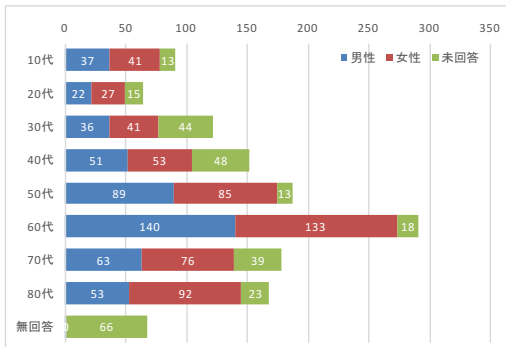


回答者属性

回答者属性（年代別）



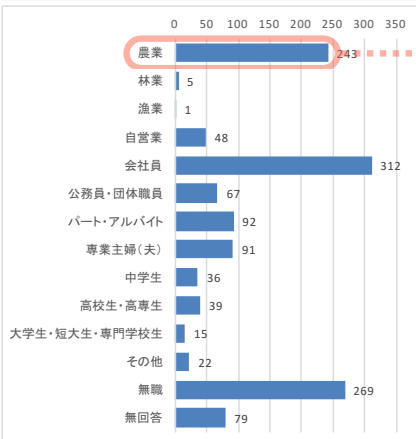
回答者属性（年代別×男女別）



若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。

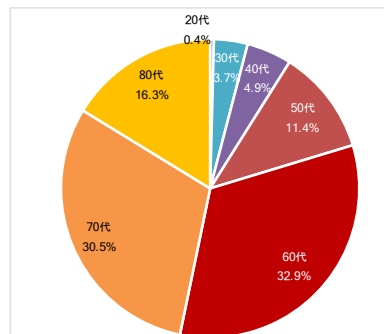


世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！



回答者属性（職業）

農業従事者の年代構成（割合）

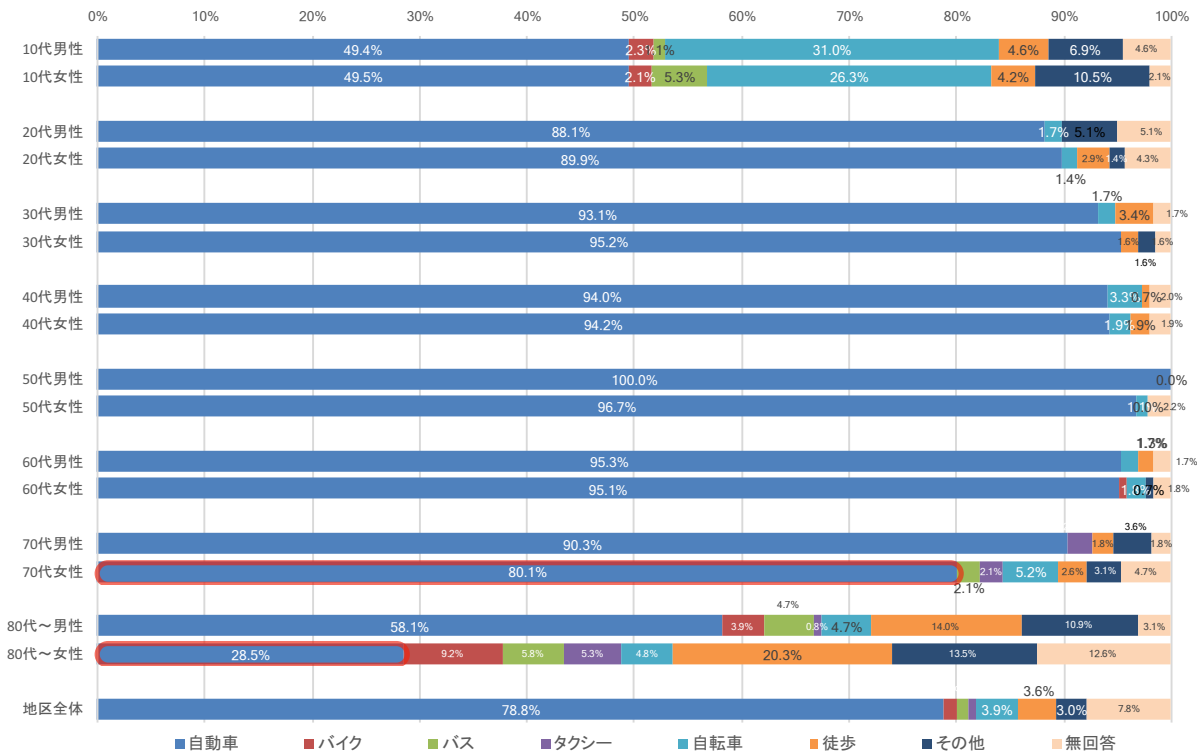


農業従事者の年代構成（人数）

年代	人数
10代	0
20代	1
30代	9
40代	12
50代	28
60代	81
70代	75
80代	40
計	247

農業従事者の79.7%が60代以上 → 20年後は100人程度!?

年代別・男女別の日常的な交通手段



日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

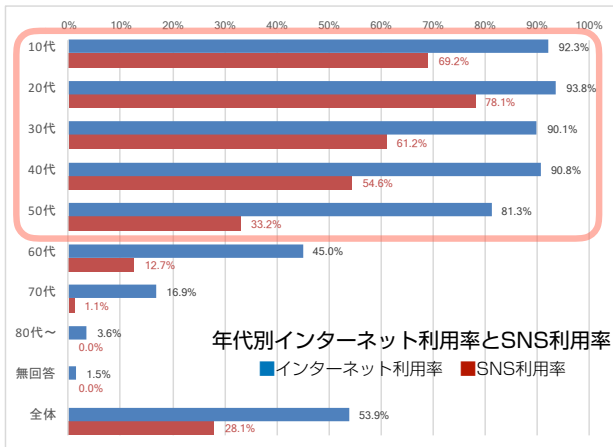
80代になると車を運転する人の割合が減少

(70代→80代：男性32.2%↓、女性51.6%↓)

(要確認) 80代女性の運転免許保有率

インターネットの利用割合

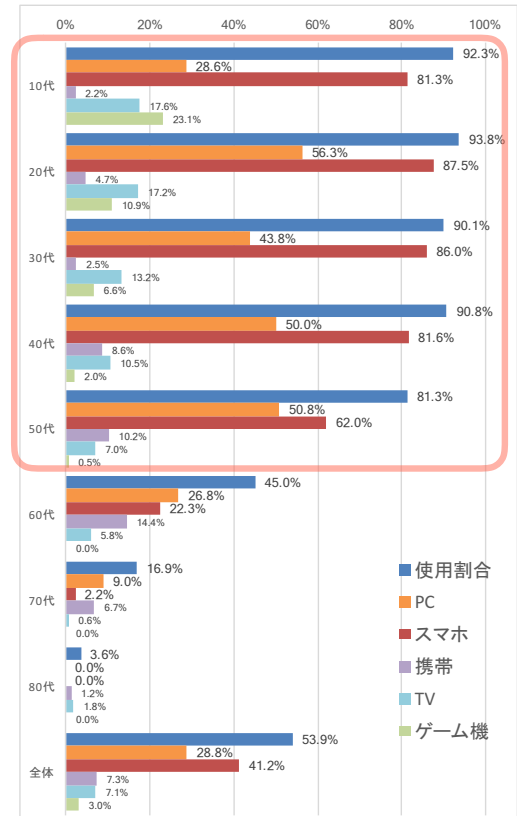
年代別インターネットの利用率



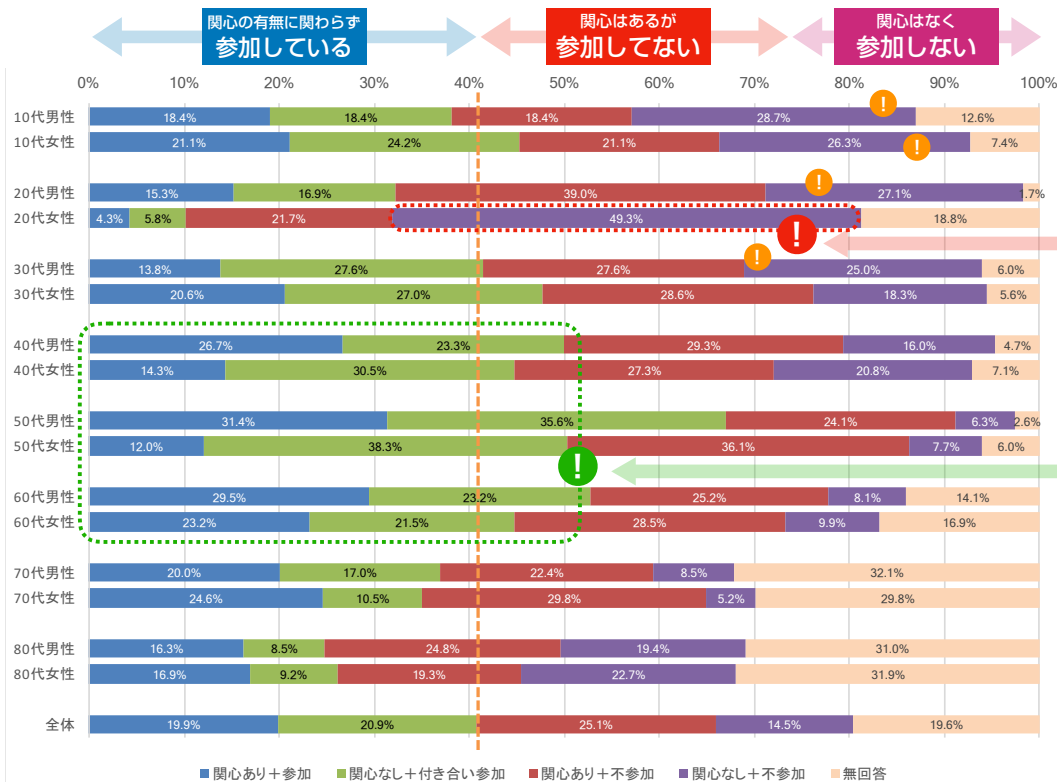
- 全体の半数以上がインターネットを利用。
- **40代以下は約9割**がインターネットを利用。(50代でも約8割)
- **大半がスマホ・携帯で利用**しており、若い世代ほどその割合は高い。
- 30代以下は**3人に2人以上がSNS**を利用。

50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的?!

年代別インターネット利用における使用機器



地域活動への関心



【注意！】
10・20代は、「関心は無く、参加したいとも思わない」の割合が他の世代に比べて極端に高い！

20代女性：49.3%
(全世代で1位)
10代男性：28.7%
(同2位)
20代男性：27.1%
(同3位)

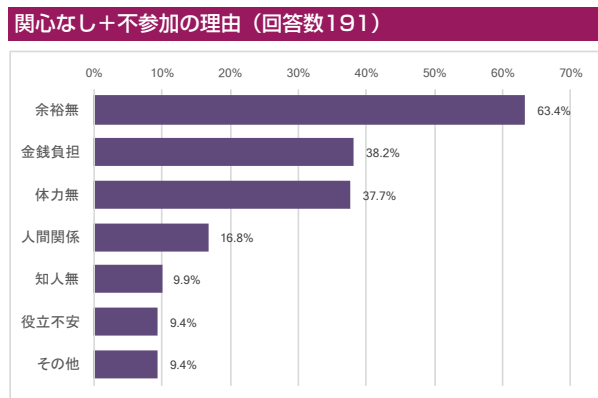
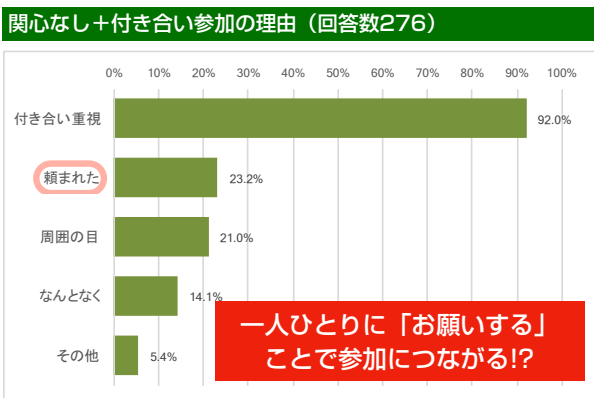
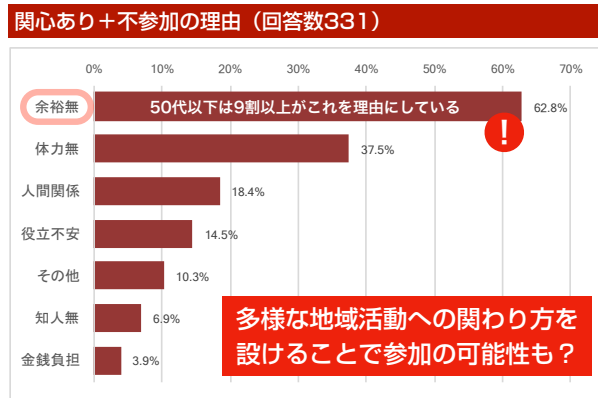
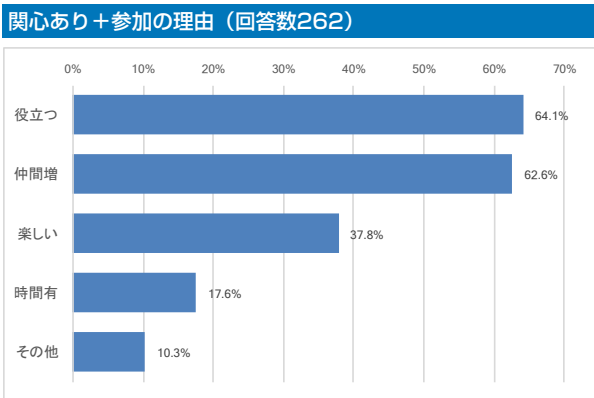
↓
将来的に大丈夫か？

現状は
40～60代
が頑張っているで回っている状態。

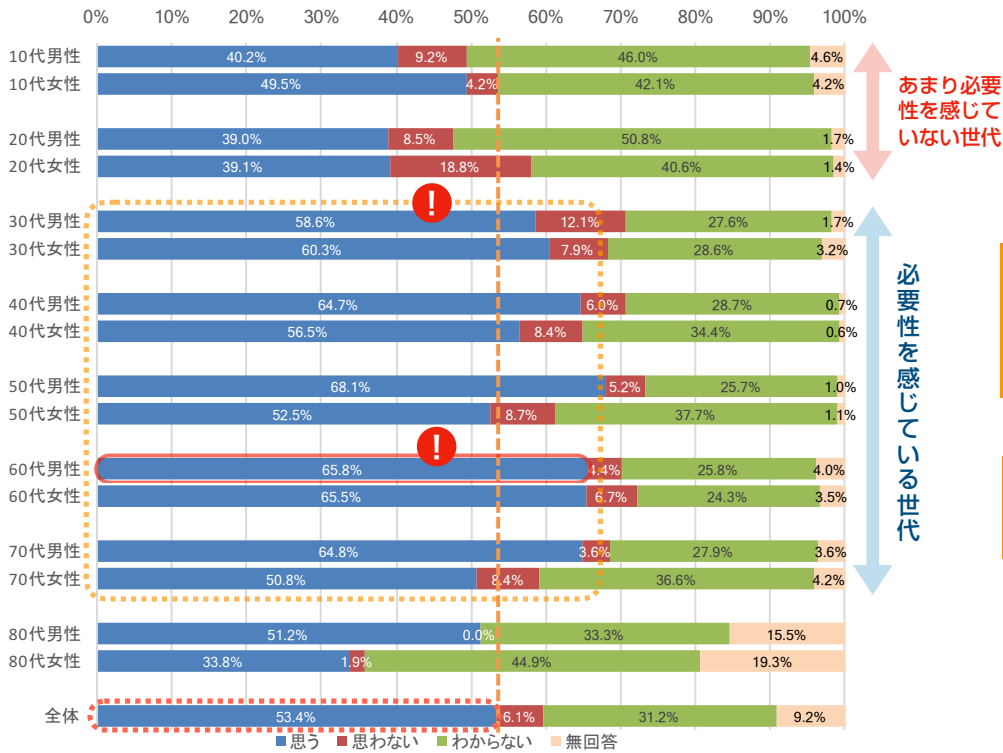
- 30代女性 (28.6%)
 - 40代女性 (27.3%)
 - 50代女性 (36.1%)
 - 60代女性 (28.5%)
- 20代男性 (39.0%)
30代男性 (27.6%)

必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない
「関心があっても参加していない」割合が高い世代には、その理由を探ることが大切！

地域活動への関心 (それぞれの理由) ※複数回答



女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別)



あまり必要性を感じていない世代

必要性を感じている世代

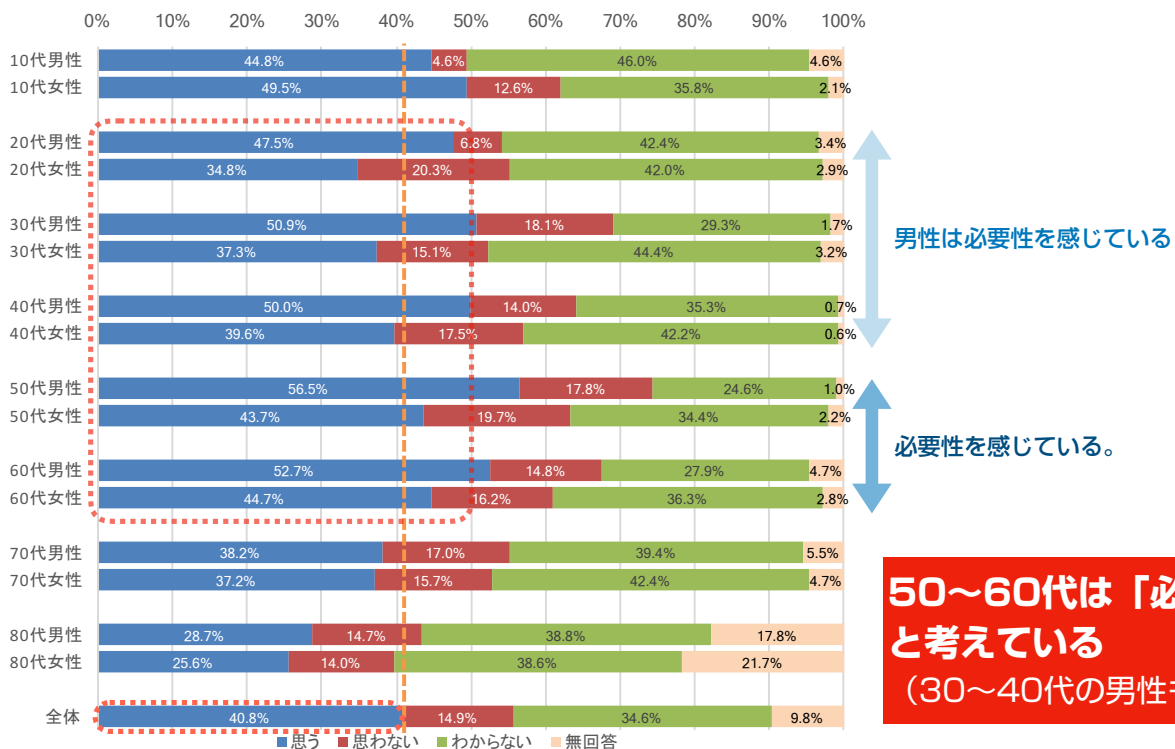
役員を担っている世代 (60代男性) は「必要」と考えている割合は6割超。

30代以上は「必要」という割合が半数以上

声を反映させる場・機会の充足が求められている！

地域全体では半数以上が「必要」と考えている。

定住受入の必要性 (年代別×男女別)



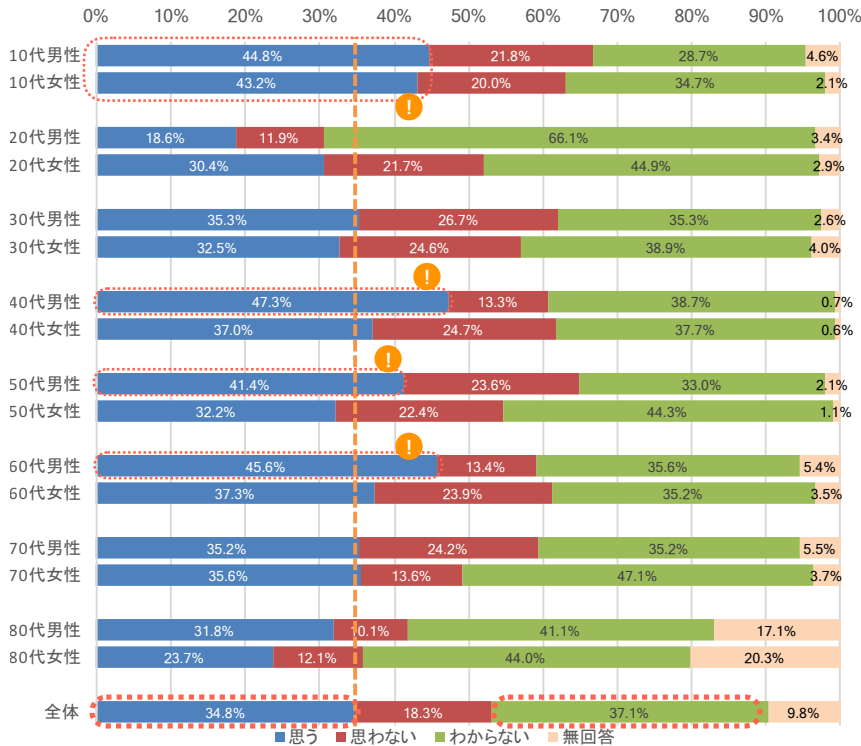
男性は必要性を感じている

必要性を感じている。

50~60代は「必要」と考えている (30~40代の男性も)

地域全体では4割が「必要」と考えている。

他地域との交流の必要性 (年代別×男女別)



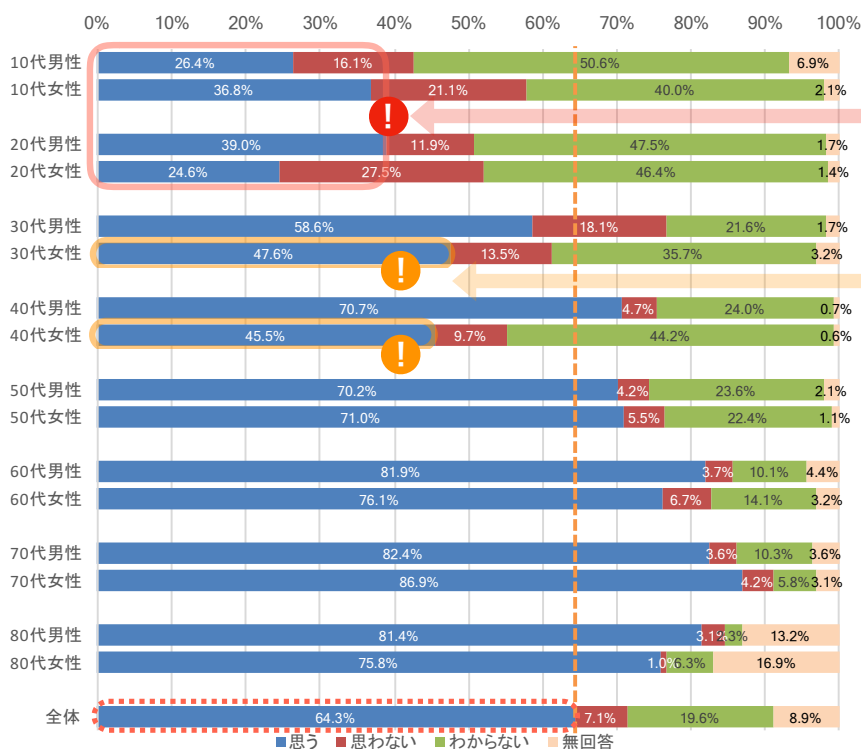
10代と40~60代男性は、「必要」と考えている割合が高い



必要性は薄々感じているが、今ひとつ実感がない…という状態か？

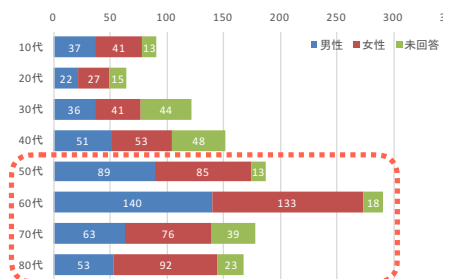
地域全体では1/3以上が「わからない」と回答。「必要」という考えもほぼ同じ割合。

この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別)



20代以下は地区平均よりもかなり低い。

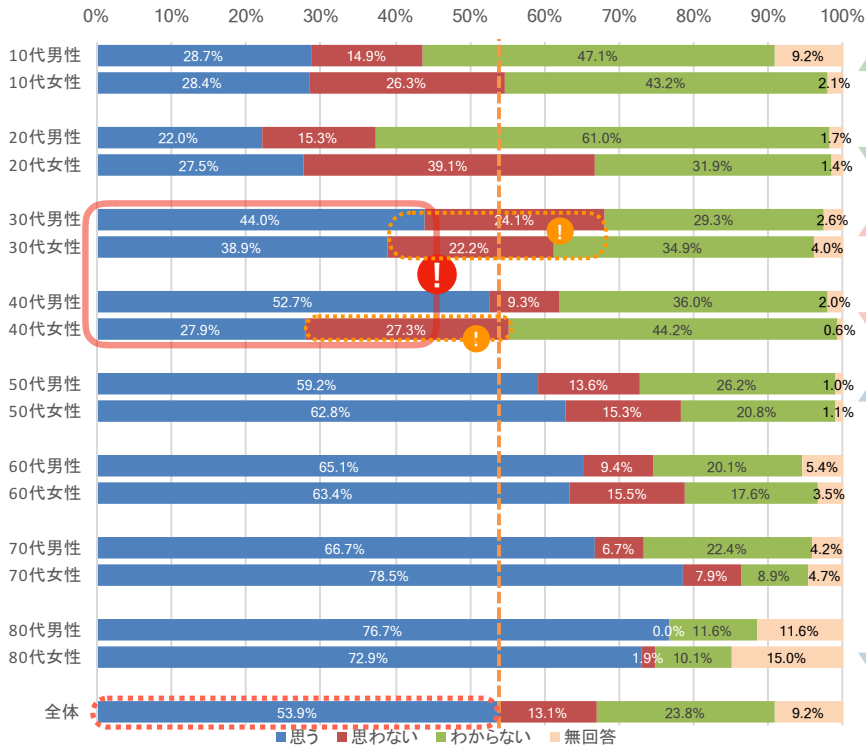
30・40代女性は「住み続けたいと思う」が半数以下



地域全体では「住み続けたいと思う」は約6割以上

多数派の意見が色濃く反映された結果

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)



「わからない」が多い世代

子育て中の親世代（30・40代）の「住み続けてほしい」の割合が地区平均以下

30代および40代女性は「住み続けてほしいとは思わない」という回答が約2割以上

「住み続けてほしい」が多い世代

【注意！】
このままだと、人口減少（流出）は進行しつづける可能性があるのでは？

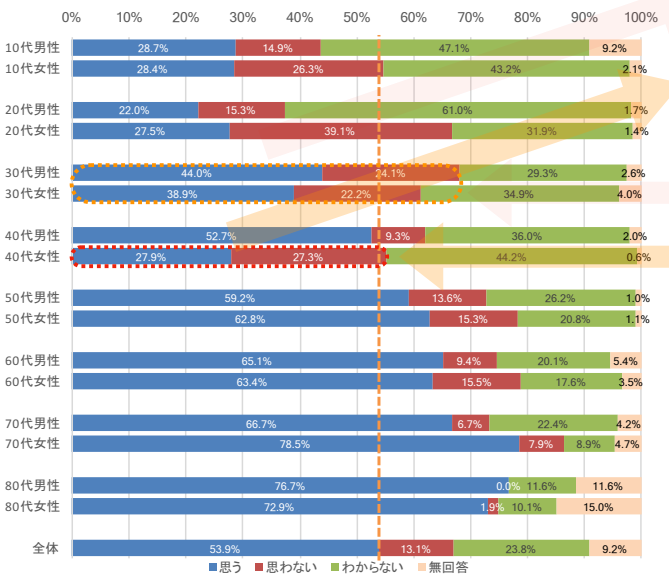
地域全体では「住み続けてほしい」が53.9%

- ▶子育て中の親世代（30・40代）の「住み続けてほしい」の割合が地区平均以下
- ▶30代および40代女性は「住み続けてほしいとは思わない」という回答が約2割以上

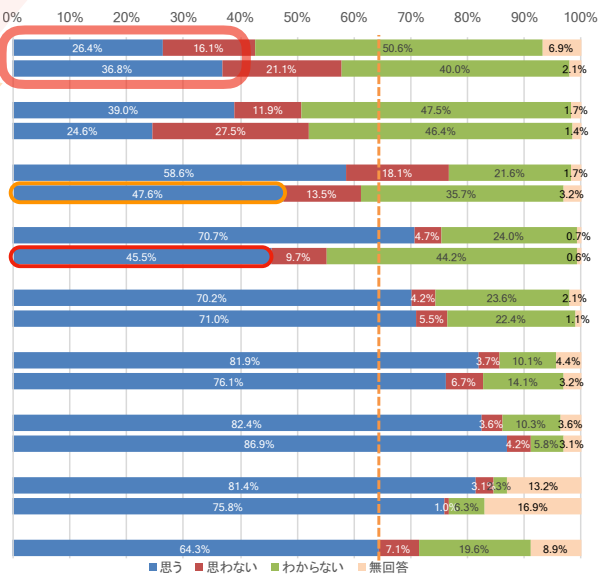
20代以下は地区平均よりかなり低い。

30・40代女性は「住み続けたいと思う」が半数以下

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)

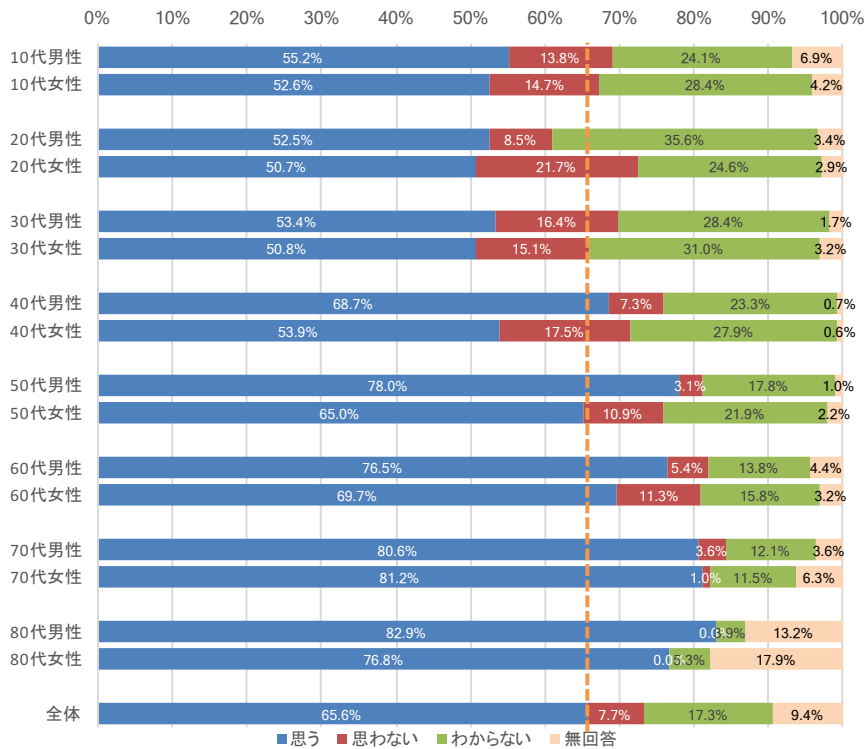


この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別)



親世代の考えが、子に影響している可能性はありますか？

地域への愛着の有無 (年代別×男女別)



地区平均よりも愛着が低め

地区平均よりも愛着は高め

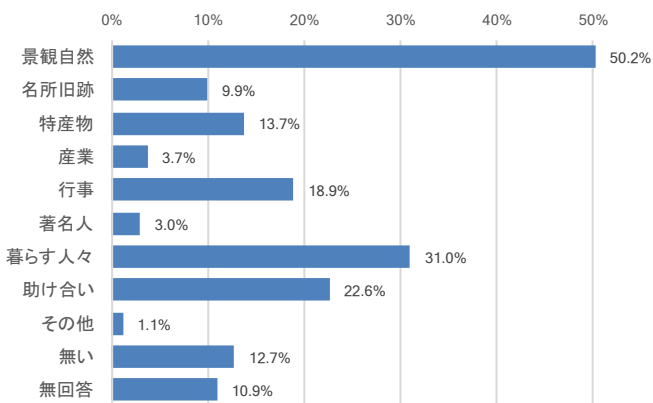
世代間のギャップも大きくはない

「愛着がある」は65.6%

決して低い数値ではない！

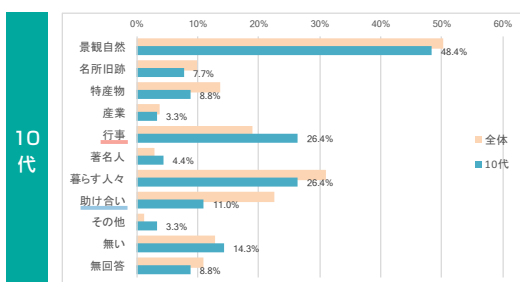
誇りに思う地域資源は何か (10~40代)

地区全体 (複数回答)

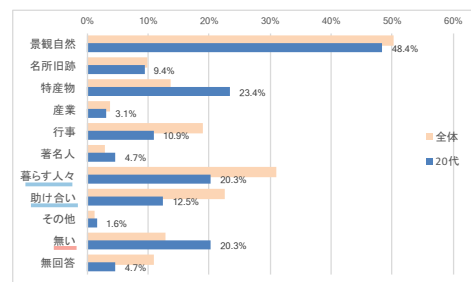


地区平均よりも高い (赤)

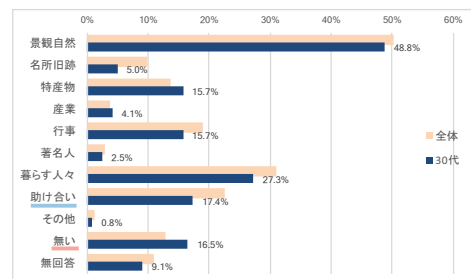
地区平均よりも低い (青)



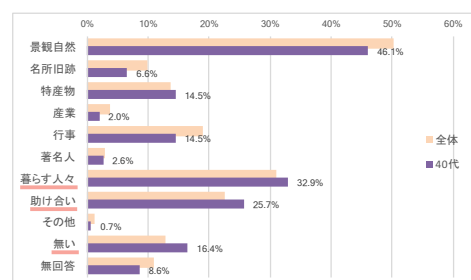
20代



30代

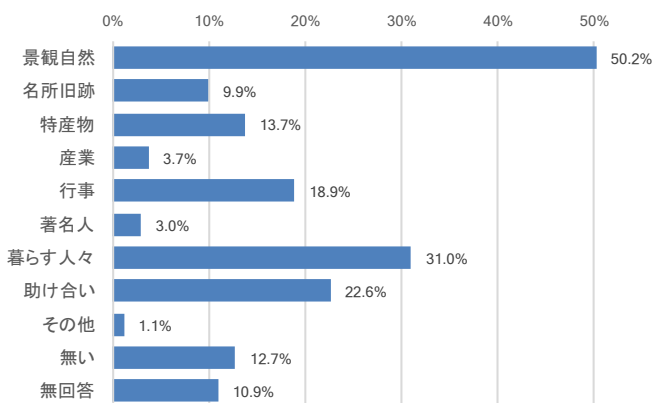


40代

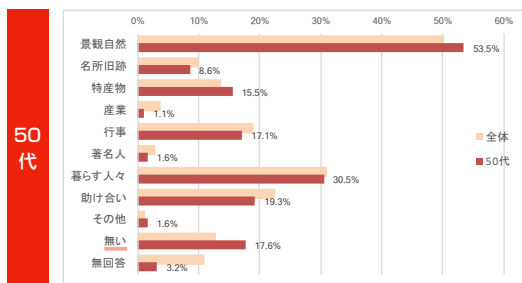


誇りに思う地域資源は何か (50代～)

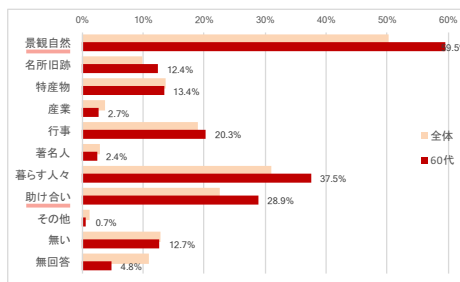
地区全体 (複数回答)



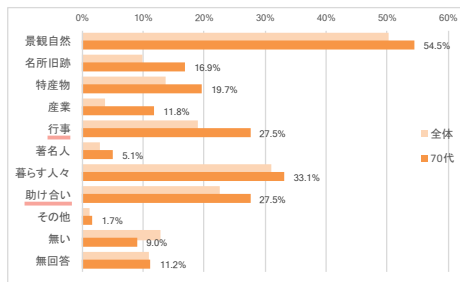
— 地区平均よりも高い
— 地区平均よりも低い



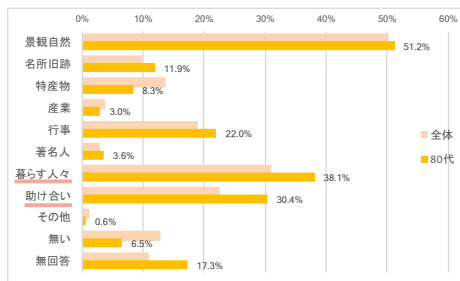
60代



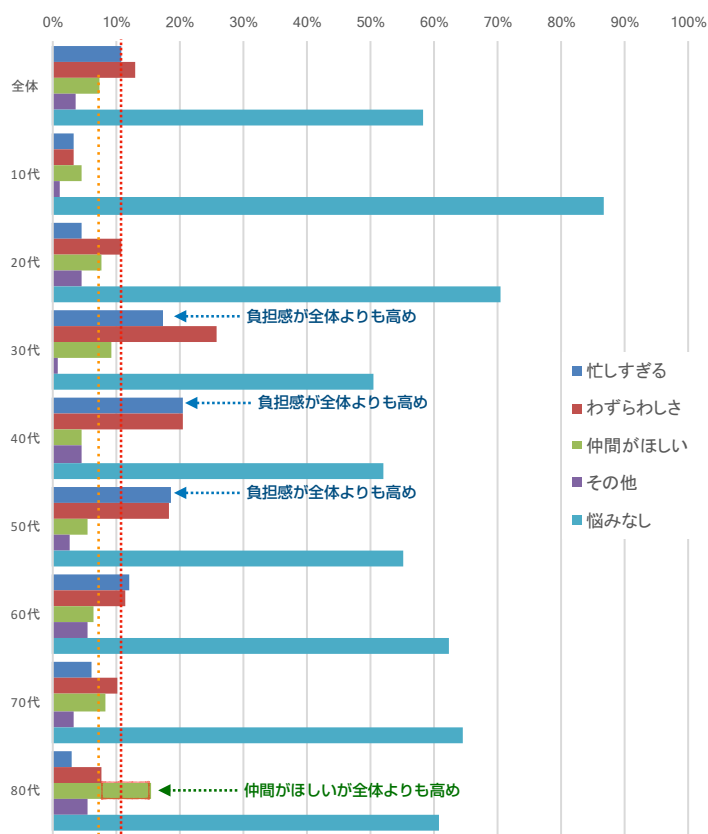
70代



80代



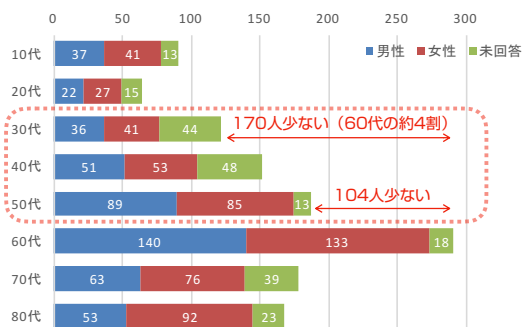
近所づきあいでの悩み



● 全体の6割近くが「悩みなし」

● 30～50代は「忙しすぎる」という悩みが、80代は「仲間がほしい」という悩みが、全体平均よりも高い。

人は減っているのに、役割・仕事量が変わってなければ、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていく。このままでは回らなくなるのでは？

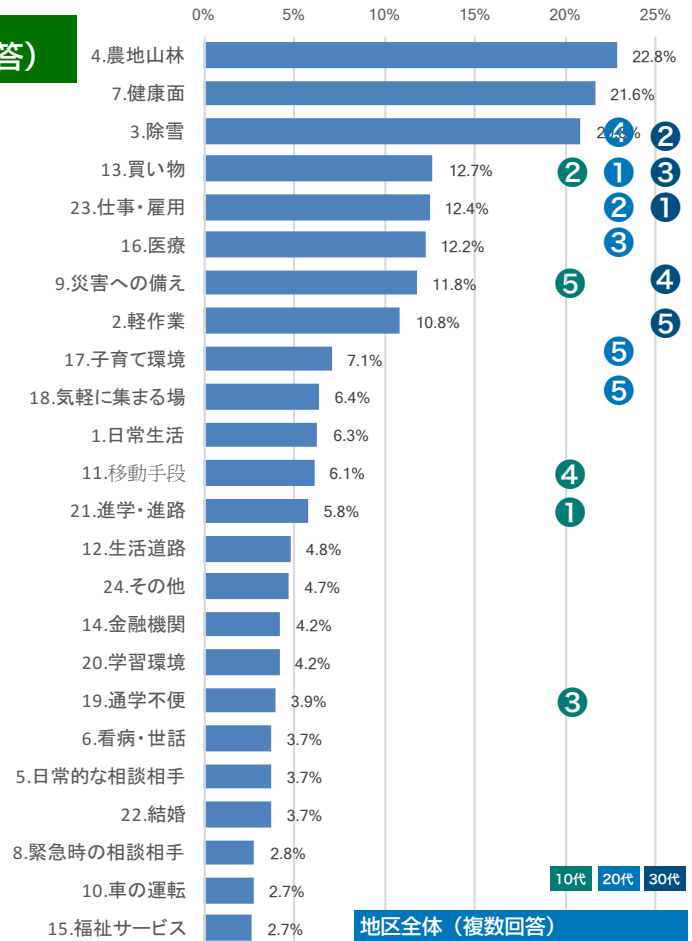


暮らしの中の困りごと（複数回答）

10代	
1 進学・進路	33.0%
2 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	29.7%
3 学校が遠く、通学が不便である	18.7%
4 買い物・通院などの移動手段（交通手段）	9.9%
5 災害への備えや避難	8.8%

20代	
1 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	29.7%
2 仕事・雇用	21.9%
3 病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	18.8%
4 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	17.2%
5 少子化による遊び相手の確保など子育て環境 仲間と気軽に集まる場所がない	15.6%

30代	
1 仕事・雇用	24.8%
2 少子化による遊び相手の確保など子育て環境	23.1%
3 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	20.7%
4 災害への備えや避難	17.4%
5 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	16.5%

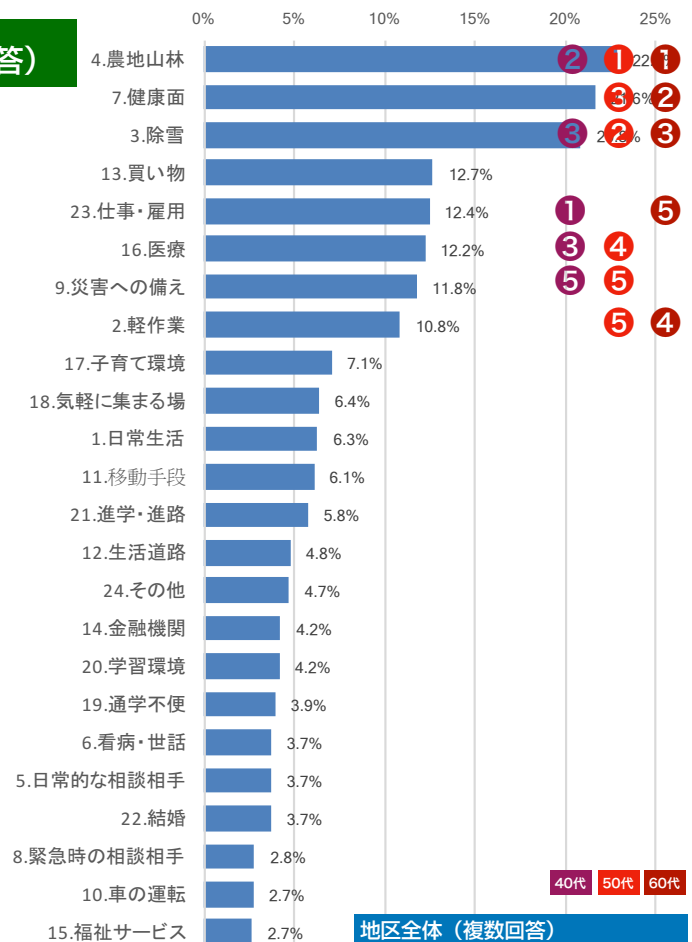


暮らしの中の困りごと（複数回答）

40代	
1 仕事・雇用	25.7%
2 農地、山林の維持管理	23.7%
3 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	21.1%
病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	21.1%
5 災害への備えや避難	14.5%

50代	
1 農地、山林の維持管理	39.0%
2 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	28.3%
3 健康面への不安がある	21.4%
4 病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	17.1%
5 災害への備えや避難 庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業	16.0%

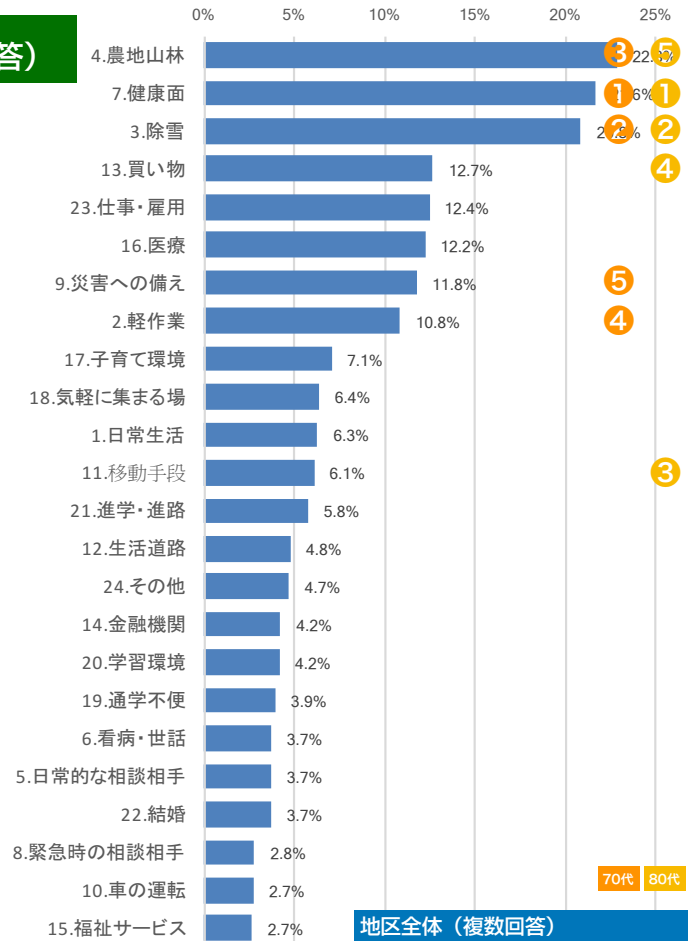
60代	
1 農地、山林の維持管理	34.0%
2 健康面への不安がある	24.7%
3 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	24.4%
4 庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業	12.4%
5 仕事・雇用	11.3%



暮らしの中の困りごと（複数回答）

70代	
1	健康面への不安がある 35.4%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 29.8%
3	農地、山林の維持管理 25.3%
4	庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業 12.9%
5	災害への備えや避難 12.4%

80代	
1	健康面への不安がある 48.8%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 19.0%
3	買い物・通院などの移動手段（交通手段） 17.9%
4	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便 15.5%
5	農地、山林の維持管理 14.9%



暮らしの中の困りごと（まとめ）

第1位 農地、山林の維持管理 22.8%

50・60代は第1位
40代は第2位 →40代以上で上位にランクイン
70代は第3位

第2位 健康面への不安がある 21.6%

70・80代は第1位
60代は第2位 →50代以上で上位にランクイン
50代は第3位

第3位 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 20.8%

ほぼ大半の世代で上位にランクイン

上位3つは、地域全体で2割の
人が困りごとにあげている



神納地域共通の困りごと

暮らしの中の困りごと (まとめ)

全体での順位は高くはないが、若者・中堅世代特有の困りごと

第4位 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便 12.7%

10～30代はこれが上位 (20代：1位/10代：2位)

第5位 仕事・雇用 12.4%

20～40代ではこれが上位 (30・40代：1位/20代：2位)

第6位 、医療体制に不便を感じる 12.2%

20・40～50代でこれが上位にランクイン

→子育て、親の介護という面での困りごと!?

第7位 災害への備えや避難に関すること 11.8%

10・30～50代で上位にランクイン

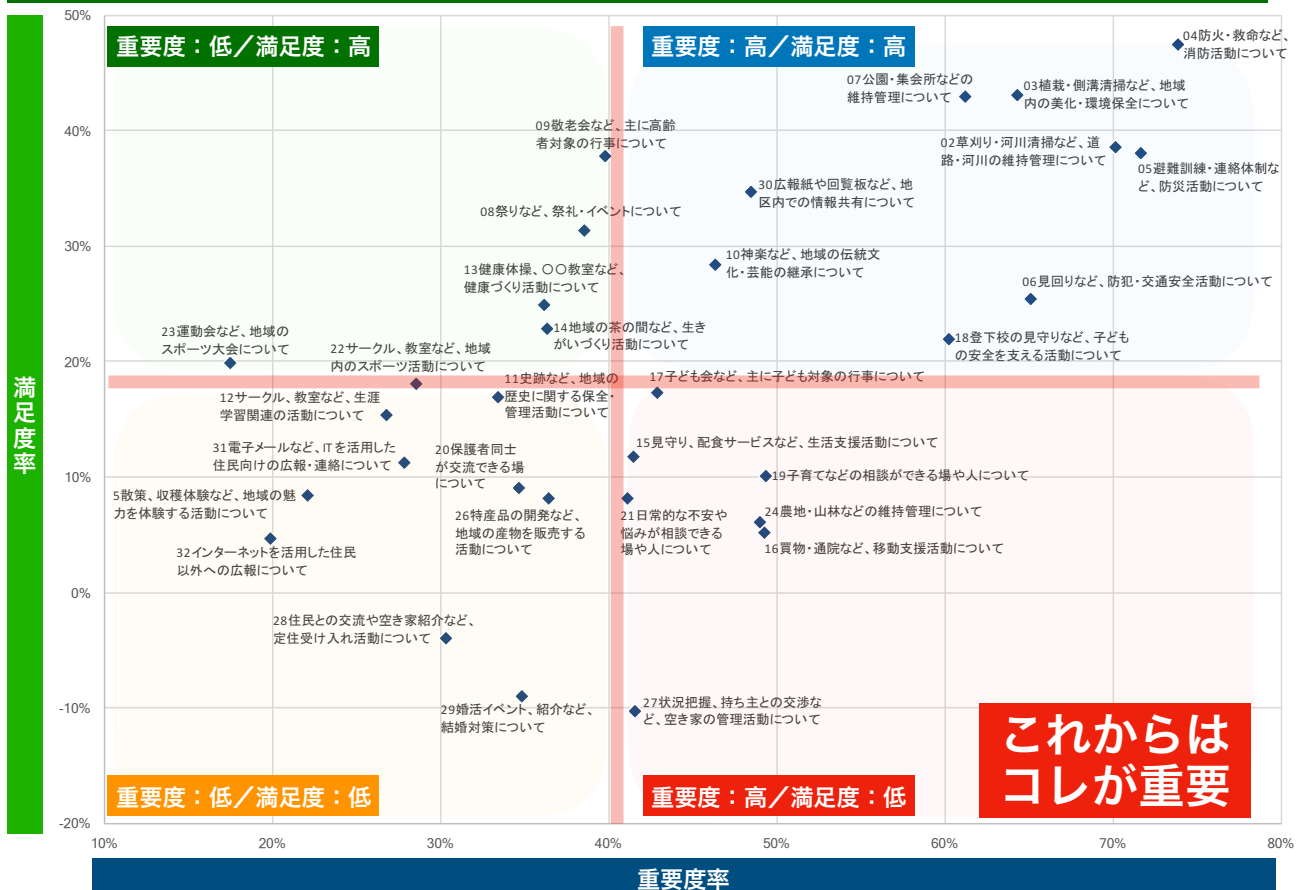
特に注意すべき80代以上の困りごと

第4位 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便 12.7%

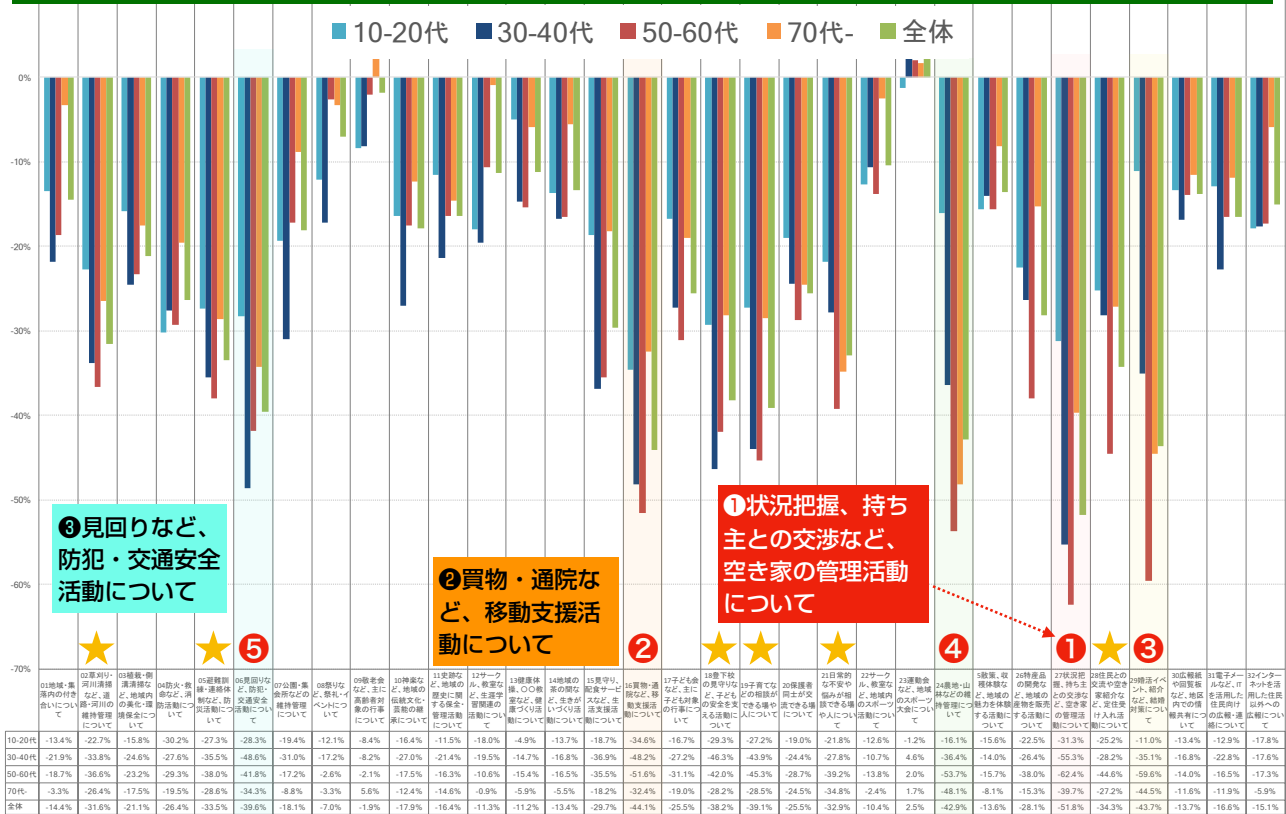
第12位 買い物・通院などの移動手段 (交通手段) 6.1%

10～20代の若者世代や80代以上の高齢世代など、多数派ではない世代の意見を丁寧に着目することも重要。

取り組みの満足度と重要度



取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）



※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目

取り組みの満足度と重要度の評価（まとめ）

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

① 状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動について

30～60代は圧倒的に将来に向けてこれが大切だという評価。

② 買物・通院など、移動支援活動について

30～60代はこの必要性を強く感じている。

③ 婚活イベント、紹介など、結婚対策について

50～60代は特にこれを求めている。

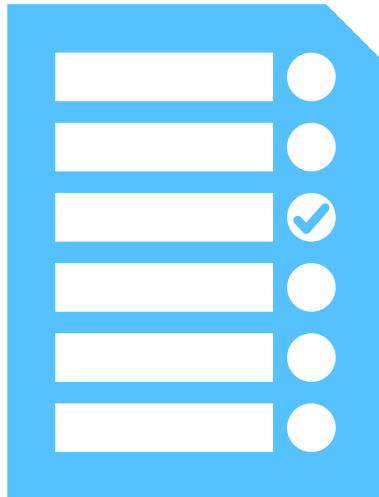
④ 農地・山林などの維持管理について

50代以上は特にこれを求める傾向が強い。

⑤ 見回りなど、防犯・交通安全活動について

30～40代はこの必要性を強く感じている。

◎将来を見据え、力を入れていくべきだと考えられている項目



【30～60代が重要だと思っているもの】

★避難訓練・連絡体制など、防災活動について

★草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理について

★登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動について

★子育てなどの相談ができる場や人について

【50代以上が重要だと思っているもの】

★日常的な不安や悩みが相談できる場や人について

★住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動について

アンケート結果から見えるポイント①

☑農業従事者の79.7%が60代以上。

▶ 20年後は100人程度!? (現在は247人)

将来的に農地の維持管理はどうする？

☑80代になると車を運転する人の割合が減少。(70代→80代 男性は32.2%、女性は51.6%減少している)

▶ 日常生活での移動が困難になる人の数は、今後、確実に増加していく。

将来への備えとして、移動支援を今から考えていく必要はあるのではないか？

☑高齢者の移動支援は、今後の重要なテーマだという認識されている。

- ▶ すでに80代の困りごとの上位には「買い物・通院などの移動手段（交通手段）」が上がっている。
- ▶ 今後取り組むべき重要テーマとしても第2位に移動支援が上がっている。

☑全体の半数以上がインターネットを利用

▶ 50代以下は約8割（40代以下は9割）がインターネットを利用しており、大半がスマホ・携帯での利用。

50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的?!

アンケート結果から見えるポイント②

☑必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではないではない。

- ▶ 女性は30～60代が、男性は20・30代が、「関心はあるが参加していない」の割合が高い。
- ▶ 「関心あり+不参加」の理由の第1位は「余裕が無い」。こう回答した10～50代は、9割以上がこれを理由にあげている。
- ▶ 「関心なし+付き合いで参加」の理由では、第2位に「頼まれた」が来ている。
- ▶ 現状は40～60代の方々が頑張っているので地域活動が回っている状態。

多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性は十分にあるのでは？

直接対話を通じて、さらに理由を深掘りしていくことが必要。

☑20・30代は、地域活動に「関心は無く、参加したいとも思わない」の割合が他の世代に比べて極端に高い！

- ▶ 次の次の世代（10～20代）の意識・考え方は、今の中堅以降の世代とはかなり違う。（育ってきた環境・社会背景が異なるのである意味当然のこと）

こうした世代の人たちの声に真摯に耳を傾ける必要があるのでは？

アンケート結果から見えるポイント③

☑役員世代も中堅世代も、もっと女性・若者の声を反映すべきと思っている。

- ▶ 役員を担っている世代（60代男性）は「必要」と考えている割合は6割超。
- ▶ 30代以上も半数以上が「必要」と考えている。

お互いにその気はある！声を反映させる場・機会の充足・工夫が必要。

☑移住・定住者の受け入れが必要と考えている割合は約4割

- ▶ 30～40代の男性、50～60代は「必要」と考えている。

☑他地域との交流の必要性については、地域全体では1/3以上が「わからない」。ただし「必要」という考えもほぼ同じ割合。

- ▶ 10代と40～60代男性は、「必要」と考えている割合が高い。

必要性は薄々感じているが、今ひとつ実感が無い…という状態か？

アンケート結果から見えるポイント④

☑「この地域に住み続けたい」と考えている人の割合は全体では約6割以上。

- ▶ ただし、30・40代の女性は地区平均よりも低く、10・20代は地区平均よりもかなり低い。

☑「自分の子どもにも住み続けてほしい」と思っている人の割合は全体の5割超。

- ▶ ただし、子育て中の親世代（30・40代）の「住み続けてほしい」の割合が地区平均以下。
- ▶ 30代および40代女性に関しては、「住み続けてほしいとは思わない」という回答が約2割以上。

☑全体の2/3が「地域への愛着がある」。

- ▶ 世代間の差もあまり大きくない。

親世代の考えが、子に影響している可能性はないか？

このままでは、人口減少はさらに進行する可能性があるのでは？

決して低い数値ではない！

アンケート結果から見えるポイント⑤

☑近所づきあいについては、6割近くが「悩みなし」。

- ▶ ただし、30～60代は「忙しすぎる」という悩みが、80代は「仲間がほしい」という悩みが、全体平均よりも高い。

人は減っているのに、役割・仕事量が変わっていないければ、負担感が増すのは当然。今後、さらに人の数は減っていく。このままでは回らなくなる可能性大。

☑暮らしの中の困りごとトップ3は、

- ①農地、山林の維持管理
- ②健康面への不安がある
- ③屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪

困りごとの内容をさらに深掘りしていくことが必要。

☑今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ①状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動
- ②買物・通院など、移動支援活動
- ③婚活イベント、紹介など、結婚対策
- ④農地・山林などの維持管理について
- ⑤見回りなど、防犯・交通安全活動

ただし、世代によって上位にランキングされている内容はかなり異なる。（特に若年層）若年層は少数派であることを十分に認識し、丁寧に扱うことが求められる。